

■公共図書館での実践事例

アイサポート那須のマルチメディアDAISY図書への取り組み

アイサポート那須
松木 隆雄

はじめに

昨年に引き続き、栃木県那須市内の3図書館での「わいわい文庫体験会」、図書館こどもまつりでのPRと体験会を行いました。

できるだけ多くの方々にマルチメディアDAISY図書「わいわい文庫」を知っていただき、その中で読書の喜びを見出す方が一人でも出てくればという思いで取り組んでいます。



タイトルごとに分割

図書館での体験会

今年も、会場手配、市広報や社協だ

よりへの掲載、ポスター・チラシの製作配布など、図書館及びボランティアセンターの協力をいただきました。

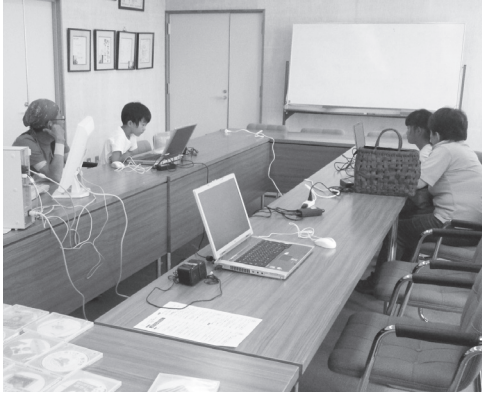
開催日が他のイベントと重なり、昨年より来場者が少なかったのですが、それでも酷暑の中、小児をあわせ21名の方が体験されました。

今回は後からフォローできるようにアンケートを用意し、13名の方に記入いただきました。

マルチメディアDAISY図書やわいわい文庫については、聞いたことがある方が6人おられました。みなさん見たり体験するのは初めてで、こちらの説明もよく聴いていただき、いろいろなタイトルを体験されていました。



体験会場入口



体験会の様子

〈アンケートの意見から〉

- ・文字やカラーを変更でき、障害があってもパソコンを操作できれば楽しく学べると思います。ぜひすすめられたい。
 - ・デジジーを聞いたことがあったが、今回は体験できて良かった。
 - ・児童が意欲的に取り組めそうなので、ぜひ活用したい。(小学校特殊学級担当の先生が、学校へのチラシを見て来場。後日、わいわい文庫の使い方、ポスター、CDを送付した)
 - ・読書障害の子どもたちにぜひ知ってもらいたいツールなので、もっと社会的に認知されるよう、広報などでも取り上げてもらってはどうか。
 - ・いま小学校低学年では「ルルとララ」、高学年では「かいけつゾロ」がスゴイ人気、わいわい文庫でも作ってはどうか。
- か。教育長や教育関係の会議にデモってはどうか。(図書館員)
- ・多彩な内容に感心しました。もっともっと普及活動をして、障害をもった方の想像力を膨らませ、豊かな心の世界を築く機会を増やしてあげてください。
 - ・教育現場で利用できると良いと思いました。
 - ・先天性の弱視難聴の長女でも楽しめる絵本を探したい。五感を使って絵本を楽しませたい。(小学1年の子どもと3人で来場、いろいろお話をして行かれた)
 - ・ルビがあり読みながら聞くことができ、読み方やイントネーションまで学べ、同じフレーズを繰り返し聞けるので、良い学習教材として使えることが実感できました。
 - ・全く知らなかったマルチメディアデジジー、絵も発音もきれいで子どもにはとてもいいなあと思いました。もっと広がると良いですね。
 - ・実際に使ったり説明を聞く機会がなかなかないので、とても良い体験でした。

その他の活動

黒磯図書館こどもまつりで掲示によるPRと体験を実施しました。10人ほどの親子や児童が体験され、説明を聞いていただきました。



図書館こどもまつり

子どもたちはマウスを動かしながら真剣に見聞きしていました。

昨年より利用されている小規模なグループホーム（発達障害と思われる成人男子5人が入所）で、お貸ししていたCDは見あきたようだとの連絡があり、2015年版 10タイトルを図書館から借りて持参しました。



グループホームでの利用の様子

パソコン操作の得意な方が利用していると、他の皆さんが傍に寄ってきて

一緒に楽しんでいるとのことで、利用されているところを見学させていただきました。

その日は2人で『おばけのバーバパパ』『ねこの詩』『11ぴきのねこ どんこ』を聞いていました。静かに聞き入っている様子でした。

今後の取り組み

懸案の学校訪問は、先生の都合などでまだ実現できていません。

発達障害児なども入園している幼稚園でわいわい文庫の説明と試聴のアポがとれ、出かける予定です。

近隣市町の図書館で体験会をしてほしいとの依頼があり承知しました。

マルチメディアDAISY図書「わいわい文庫」の存在が少しずつ広まってきていると感じてはいますが、より効果ある体験会やPR方法などを研究していく必要があると痛感しています。